

お知らせ

2026 年 7 月 28 日

国立研究開発法人防災科学技術研究所

災害時等における電力データと連携した 停電断水エリア等の判定に関する全国初の実証実験の開始

国立研究開発法人防災科学技術研究所（理事長：寶 馨）は、豊田市（市長：太田稔彦）、中部電力株式会社（代表取締役社長 社長執行役員：林欣吾）と災害時等における電力データと連携した停電断水エリア等の判定に関する実証実験（以下「本実証」という。）を開始しました。

1. 内容

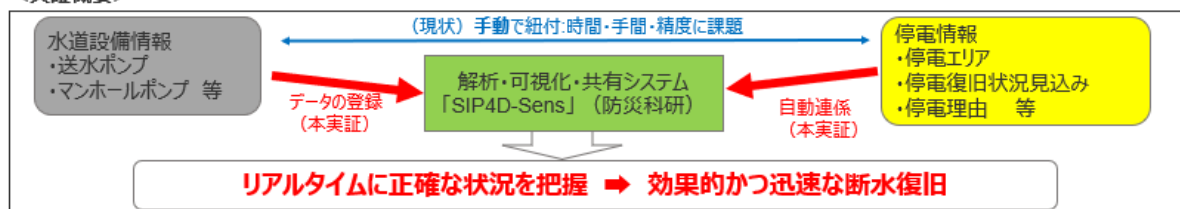
国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下「防災科研」という。）は、豊田市、中部電力と「災害時等における電力データと連携した停電断水エリア等の判定に関する実証実験協定書」を締結しました。

防災科研は、SIP 第 3 期^{※1}において、マルチセンシングデータ常時解析・可視化・共有システム（SIP4D-Sens）^{※2}の開発を進めており、豊田市をフィールドとして、中部電力株式会社から提供される停電情報を元に SIP4D-Sens の被害推計機能を活用し、災害時等の停電・断水の影響エリア等をリアルタイムに把握することを可能とし、効果的かつ効率的な断水復旧を目指すための全国初の実証実験を開始します。

今後、3 者は本実証実験を通じて、災害時等の停電・断水の影響を迅速かつ正確に把握する仕組みの確立を目指すとともに、その実用化に向けた検討を進めてまいります。

実証実験期間：2026 年 7 月 28 日（火）～2028 年 3 月 31 日（金）

<実証概要>



<役割分担>

豊田市	防災科学技術研究所	中部電力
・上下水道施設情報等の提供 ・現地調査の実施、報告 ・本実証の進捗管理、評価	・停電断水状況の見える化 ・停電断水エリア等の統合・分析 ・復旧情報のメール配信	・停電情報の活用、システム連携に関する調整 ・各種インフラデータの利活用に関する技術的助言 ・実用化に向けた検討

- ※1 SIP 第 3 期
戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第 3 期 スマート防災ネットワークの構築
サブ課題 A「災害情報の広域かつ瞬時把握・共有」
- ※2 マルチセンシングデータ常時解析・可視化・共有システム(SIP4D-Sens)
SIP 第 3 期で開発中の、さまざまなセンサ情報から被害状況を推計するシステム